

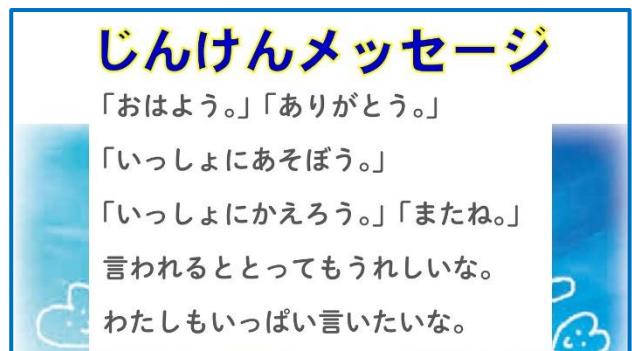
心のきずなを深める月間 ～自分を大切にし、他の人を大切にする～

南関第三小学校では、6月から7月の上旬までを「心のきずなを深める月間」として取組を行っています。心のきずなを深める月間にについて、校長講話で「自分を大切にし、他の人を大切にすること」を話しました。



そのために、この期間で特に、次の3つのこととを意識してほしいと伝えました。「①人がうれしいことをする」「②誰もが助け合い、支え合う」「③いじめをしない」です。また子どもたち自身がどう行動すべきかについて話し、子どもたちは真剣な表情で耳を傾けていました。

日常生活や授業でも、このテーマに沿った取り組みを続けています。また、今月の生活目標として「友達との仲を深めよう」を決めて全校



で取り組んでいることはすてきだと思います。

最後に、熊本県人権センターが作成した「人権メッセージ作品集」から3編の心温まるメッセージを紹介しました。心のきずなを深める月間に、児童が互いに思いやりを持って接することの大切さを改めて学びあっています。

代表委員会の話し合いで ～南関三小人権目標を決めました～

7月2日（水）、第2回代表委員会が6時間目に行われ、各学年から代表児童が集まり児童主体で「人権」について真剣に考えました。それぞれの学年が、今の学校生活の中で見つけた課題を発表し、それを解決するための実行スローガンを作り上げました。

例えば、1年生は「いやなことをする人がいる」、5年生や6年生からは「わるぐち」や「決めつけ」という課題が出されました。全学年で共有し、それぞれの課題を解決するためにどんな行動が大切なことを話し合い、ついにスローガンが完成しました。

その結果、三小のみんなで心に刻み課題解決に向けて行動していくために、「いじめやさべつに気付き 『おかしいよ』『ごめんね』が言える三小っ子」と決定しました。

このスローガンには、「お互いを大切にする気持ち」や「間違いを認め、正す勇気」が込められています。自分事として捉え、積極的行動することを期待しています。今回の学級会、代表委員会や日常的な活動を通して、児童が問題を共有し、解決に向けた姿勢が見られ感銘を受けました。

